

第五十九回
帝國議會
貴族院

米穀法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

米穀法中改正法律案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

委員氏名

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 橋本圭三郎君

侯爵松平 康昌君

子爵松平 直平君

子爵片桐 貞央君

子爵土岐 章君

木場 貞長君

男爵長松 篤榮君

上山滿之進君

男爵今枝 直規君

男爵足立 豐君

男爵三須 精一君

湯川 寛吉君

本山 彦一君

田村 新吉君

佐藤 信古君

絲原武太郎君

本間千代吉君

昭和六年三月十一日(水曜日)午前十時十七分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是ヨリ開會イ
タシマス

○國務大臣(町田忠治君) 大體本會議デー

應申述べマシタガ、更ニ本委員會ノ初メニ
當リマシテ、モウ少シ詳細ニ互ッテ御説明ヲ
申上ゲテ御參考ニ供シタイと思ヒマス、米

穀法中改正法律案ノ大體ハ本會議デ申述べ
テ置キマシタガ、其要ハ米穀調査會ノ答申
ヲ大體適當ナモノト認メマシテ、米穀法發動

ニ必要ナル米價ノ最高最低ノ基準ヲ設ケタ
ノデアリマス、又米穀ノ輸出入ヲ非常時政
府ノ統制ノ下ニ置ク爲ニ許可制度ヲ設ケマ

シテ、調節ニ遺憾ナカラシメムコトヲ期シ
タノデアリマス、同時ニ米穀需給調節特別
會計ノ借入限度ヲ擴張スル爲ニ同會計法ノ

改正ヲ行フコトヲ致シマシタ、茲ニ米穀法
中改正法律案ノ主ナル條項ニ付キマシテ御
説明申上ゲマス、第一ハ第二條ノ規定デ

アリマス、米穀ノ輸入及輸出ニ付テハ第三
條ヲ新タニ設ケマシタカラ、第二條ニ於キ
マシテハ單ニ輸入税ヲ増減又ハ免除スルコ

トヲ得ル規定ニ改メタノデアリマシテ、第
三條ニ新タニ政府統制ノ爲ニ許可制度ヲ設
ケルト云フコトヲ規定シタノデアリマ

ス、米穀ノ輸出入ニ付キマシテハ、現行米
穀法第二條ニハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節
スル爲特ニ必要アリト認メルトキハ勅令ヲ

以テ期間ヲ指定シテ、之ヲ制限シ得ル規定
ガゴザイマスガ、右ハ臨時ノ調節ヲナシ
得ルニ過ギマセヌカラ、從來ノ經驗カラ見

マシテモ調節上遺憾ノ點ガ少ナクナカッタ
ノデアリマス、因ッテ米穀ノ輸出入ヲ常ニ政
府ノ統制ノ下ニ置ク爲ニ、米穀ノ需給ノ推

算ヲ行ヒマシテ、之ニ基イテ政府ガ許可制
度ヲ用ヒ調節ノ徹底ヲ期スルコトガ第三條
ノ主ナル改正デアリマス、次ニ、勅令ニ別段

ノ定アル場合ヲ除クノ外ハト致シテアリ
マス、別段ノ定アル場合ト申シマスコトハ、
主トシテ通商航海條約ニ別段ノ定アル國ノ

產米、例ヘテ申上ゲレバ暹羅米、北米合衆
國等ニ對シテハ本條約ヲ適用スルコトガ出
來マセヌ、條約ニ依ッテ無制限ニ輸入スルコ

トヲ約束シテ居リマシタ關係上、斯様ナ國
ニ對シテハ、制限ガ從來モ出來マセズ、此
條約ノアル限りハ出來マセヌカラ、其特例

限スルコトガ出來マシタモノノ暹羅、亞米
利加カラハ無制限ニ入ッテ來テ居ルト云フ

事情モ、今日尙ホ現存シテ居ルノデアリマ
ス、條約ノ期間中ハ已ムヲ得マセヌカラ勅
令ヲ以テ改正シタノデアリマス、第四條ノ

規定、現行米穀法ニ於キマシテハ、米穀ノ
調節ノ爲メ買入又ハ賣渡ヲ行フ場合ニ米價
ガ何圓ニ下落スレバ買上ゲルトカ、何圓ニ

騰貴スレバ買却スルト云フヤウナ最低價格
又ハ最高價格ニ付キマシテハ、現行法デハ
何等規定ガゴザイマセヌガ爲ニ、米穀法ノ

運用ニ付キマシテハ、専ラ其時々ノ事情ニ
應ジテ當局者ノ認定ニ依ッテ、米穀委員會ニ
諮ッテ調節ノ爲ニ買入賣渡ノ出動ヲナシテ

居タノデアリマスガ、米穀法ノ出動ノ基準
トナルベキ最低價格及最高價格ヲ豫メ公ニ
世ノ中ニ示シ置キマシテ、米穀ノ市價ガ之

ヲ越エテ低落スル場合又ハ騰貴シタル場合
ニ限ッテ買入又ハ賣渡ヲ行フコトヲ致シテ、
調節ニ遺憾ナキコトヲ期シタ次第デアリマ

ス、左様ニ致シマスル最低價格及最高價格
ヲ如何ニ適用スルカト申シマスレバ、米穀
ノ買入貯藏又ハ米穀ノ整理ノ爲ニ賣渡輸入
ヲ目的トスル米穀ノ買入、米穀ノ輸出ト云

フ斯様ナ場合ヲ除イタ外、一般ニ買入賣渡ヲナスト云フ調節ノ場合ニ於キマシテハ、政府ハ帝國内ニ於テ第一條ノ規定ニ依リマシテ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ行フ場合ニ限リテ之ヲ適用スルノデアリマス、而シテ第二項ニ米價ハ命令ノ規定ニ依リ、命令ヲ以テ指定スル市場ノ相場ニ依ッテ之ヲ定ムルコトト致シタノデアリマス、政府ガ米穀ヲ賣渡シ又ハ買入レル現實ノ價格ハ時價ニ準據シ、且ツ調節賣買ノ場合ハ價格ヲ告示スルコトハ從前ノ規定ト何等異ナルコトハナイノデアリマス、第三項ニ之ヲ規定シテ置キマシタ、第五條ノ規定ハ本法改正ノ主ナル大キナ改正デアリマス、本條ハ米穀法運用ノ基準トナルベキ最低價格及最高價格決定ニ關シテ規定ヲ設ケタノデアリマス、米穀法ノ精神ニ鑑ミマシテ、米穀生産者ノ生産經濟ヲ安定ナラシムルト同時ニ、消費者ノ家計ヲ困難ニ陷レザラシムル必要ガアリマスルガ故ニ、米穀生産費及消費者ノ家計費ヲ考慮スルト共ニ、米價ノ過去ニ於ケル一般物價トノ關係ヲ十分考慮スルノ必要ヲ認メマシタノデ、右ノ三者、即チ生産費、家計費、及ビ所謂率勢米價、此三ツヲ基礎トスルノデアリマス、率勢米價ト申シマスノハ、色ミ研究ノ末設ケマシタ所ノ熟語トナッ

テ居リマス、率勢米價ト申シマスコトハ、即チ米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依ッテ算出シマシタル價格デアリマス、此事ニ付キマシテハ更ニ詳シク御説明申上ゲルコトト致シマシテ、此三ツヲ基礎トシテ最高最低ノ基準價格ヲ決定スルコトト致シタノデアリマス、尙ホ是ガ決定ノ具體的方法ニ付キマシテハ、命令ヲ以テ定ムルコトト致シマシタ、第五ハ第七條ノ規定デアリマス、本條ニ於キマシテハ三條ノ規定ニ違反シテ米穀ヲ輸入又ハ輸出ヲナス者ヲ防止セムガ爲ニ罰則ヲ設ケタノデアリマス、第六ハ附則第二項ノ規定デアリマス、第四條ノ最低價格最高價格ノ設定ハ努メテ取急イデ之ヲ行フ必要アルノデアリマス、サリナガラ米穀ノ生産費、家計費ニ付キマシテハ十分誤リノナイヤウニ調査イタシマシテ、此價格ヲ算定スルコトノ必要ハ勿論デアリマスガ、其資料ハ今日ハゴザイマセヌ、是モ後ホド詳シク申上ゲマスガ、從來モ參考ノ爲ニ多少ノ生産費ヲ農林省デハ取調べテ居リマス、家計費ニ對シマシテハ統計局等デヤッテ居リマスガ、極メテ材料ガ完備シテ居ラヌノデアリマス、依ッテ其調査ノ整備スルニ至リマスマデハ、已ムヲ得ズ暫定方法トシテ當分ノ間ハ所謂率勢米價、即チ米價

指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ割出シタル算法ニ依ッテ得マシタル價格、其率勢米價ノ上値二割、下値二割ニ相當スル價格ヲ以テ最高價格、最低價格ニ定ムルコトト致シタノデアリマス、率勢米價ノ下値二割ヲ潛テ米價ガ下ガリマスル場合ニ於テハ國家ガ出動スル、其率勢米價ノ上値二割ヲ打割ッテ上リマシタル時ニハ、消費者ノ生活ノ爲ニ國家ガ所有シテ居ル米ヲ賣出ス、斯様ナコトニシテ生産費、生計費ノ調査ガ信頼スベキ程度マデ調査ガツキマスル期ニ於テ、初メテ生産費ト率勢米價ヲ基礎トシテ、政府ガ買入レル場合ニ二ツノ基準ニ依リ、率勢米價ト家計費ノ二ツノ基準ニ依ッテ國家ガ賣出ス、出動スル基準ト致スト云フコトニシテ、暫定的ナ方法トシテ此附則第二條ニ依ッテ暫クノ間ハ率勢米價ナルモノニ依ッテ一般經濟界ニ現ハレタ現象、三十年間ノ取調べテアリマスル物價指數ヲ基礎トシテ此間ノ米價ガ、何ト申シマスガ、私ノ方デ申ス米價ノ「ウェート」、重サヲ加ヘタモノヲ基礎トシテ大體基準ト致シテ居ルコトニ致シタノデアリマス、尙ホ御質問ニ依ッテ出來ルダケ御答辯ニ努メル積リデアリマス、尙ホ此簡條ニ所ミニ命令ノ定ムル所ニ依ッテ云フ簡條ガアリマシテ、法律

ノコトヲ命令ニ委ネタ部分モアリマスルガ、既ニ草案ガ出來テ居リマシテ御手許ニ御廻シテアル筈デアリマスカラ、之ニ付キマシテモ十分御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス、ドウゾ宜シク御審議アランコトヲ願ヒマス

○政府委員(小川郷太郎君) 米穀需給調節特別會計法中改正法律案モ本委員會ニ付託ニナッテ居リマスノデ、チヨット私カラ簡單ニ其提案ノ理由ヲ説明シテ置キマス、米穀法ノ運用ヲ全カラシムル爲ニハ、現在ノ米需給調節特別會計ノ資金デハ不十分デアリマスカラ、其限度ヲ八千万圓ダケ擴張イ

タシマシテ之ヲ三億五千万圓トスルコトト致シ、尙ホ從來本會計ニ於キマシテ米穀ノ買入代金トシテ交付スル米穀證券ハ借入金ニ依ッテ之ヲ償還スルコトト致シテ居リマスガ、今回更ニ其借換ヲ認ムルコトヲ適當ト認メマシテ、法律ヲ改正イタシタイト存ジテ居リマス、何卒御審議アラムコトヲ願ヒマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御質問ハアリマセヌカ

○子爵土岐章君 私ハ米ノ問題ニ付テ、政府ハ食糧問題ノ根本的解決策ノ見地ニ於テ如何ナル意思ヲ以テオヤリニナッテ居ラッ

ヤルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、從來米穀法ノ發動ニ對シテハ、大正七年ノ如ク食糧品トシテ非常ニ米ノ暴騰ヲ來シ、數量ニ於テ缺乏ヲ起シタ時ニ、本法案ノ發動ヲ見タノデアリマスガ、今日ハ其時代ト比較イタシマスルト云フト、數量ニ於テ非常ナル増加ヲ來シテ居リマスルシ、從テ値段ニ於テモ非常ナル暴落ヲ來シテ居ル、從來ハ米ノ買上ゲニ依テ量ヲ調節シテ行クト云フコトガ主デアッタノデアリマスガ、政友會内閣ノ時ニ於テ、値段ノ調節マデ行フト云フコトニナッタノデ、ソコニ非常ナル無理ガ起テ來タト私ハ考ヘルノデアリマス、從テ米ノ調節ト云フコトニ付テハ、根本問題トシテ常ニ其米ノ用ヒラレル用途ト云フコトモ私ハ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、然ルニ米ノ現在ノ用途トシテ考ヘマスト云フト、一般ニ食糧トシテ食ベラレルバカリデナク、現ニ米トシテハ外ノ馬鈴薯トカ或ハ糖蜜ト同ジヤウニ工業原料トシテ糊トカ或ハ「アルコール」ノ原料トシテ私ハ用ヒラレルモノト考ヘマス、從テ政府ハ米ノ調節ヲ行フ場合ニ於テ、是ガ工業原料ニ對シテモ利用ガ出來ルト云フ點マデ御考ヘニナッテ調節ヲサレルト云フコトデアアルナラバ、根本ガ食糧ニ用ヒラレルモノデアリマ

スカラシテ、唯單ニ價格ノ上ニ於テ買上ゲヲスルト云フバカリデナク、眞ニ量ノ上カラノ調節モ出來ルコトト考ヘマスルノデ、政府ハ果シテ其用途ニマデ御考ヲ及ボシニナッテ、米ノ買上ニマデ調節ヲサレル意思ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(町田忠治君) 食糧問題ノ根本

カラノ御尋デアリマスガ、私共ハ大體斯ウ考ヘテ居リマス、御承知ノ通り、近年臺灣殊ニ朝鮮ニ於キマシテ米穀ノ増產計畫ガ相當ニ進ミツツアリマスガ、大體カラ見マス、昨年ノ大豐作ニ依ッテ初メテ外國米デ不足ヲ供給スル必要ガ無クナッタノデアリマスガ、年々ノ人口ノ増加ト食糧ノ増產トヲ長イ間ノ統計ニ依ッテ考ヘテ見マシテモ、平年作ト致シマスルトマダ足ラヌノデアリマス、御承知ノ通り、從來ハ外國米ハ或ハ五百万石、少クトモ百六七十萬石ハ外國米ガ這入ッテ辛ウジテ需給關係ガ調節サレテ居タノデアリマス、一方内地ニ於キマシテ、一年一人ノ消費量モ次第ニ増加シ、人口ノ増加ニ相成リマシテ、凡ソ今日ノ所デハ内地ノ需要ガ七千万石ト二百万石ノ間ニアルノデアリマス、而シテ内地ノ既往ノ五箇年カラ割出シタ平年作ハ五千九百万石ト六

千万石ノ間ニ大抵アルノデアリマス、而シテ臺灣カラ年々入りマスルモノハ先ヅ二百万石乃至二百五十萬石ト斯ウアリマス、朝鮮カラ入りマスルノハ先ヅ平均シテ五百万石、斯ウ相成ッテ居リマス、昨年ニ於キマシテハ臺灣ハ稍、同ジト見マシテモ、例年五百万石ヲ平均數トシテ這入りマスル朝鮮米ガ、昨年ニ於キマシテハ朝鮮ガ内地異常ノ豐作ト割合ガ相成ッテ居リマスルガ爲ニ、八百万石乃至九百万石ガ大體朝鮮カラ這入ッテ來ル數量ト相成ッテ居リマス、内地ニ於キマシテハ平年作ニ比較シテ六千八百万石ノ總高デアリマシテ、平年作カラ見マスルト凡ソ先ヅ六百五十萬石位ガ昨年ニ於テ增收サレテ居リマスルガ爲ニ、朝鮮、臺灣ノ豐作ニ依ッテ茲ニ一千万石ノ增收ガ出タ爲ニ、一切ノ外國米ヲ認可制度ニ依ッテ、竝ニ關稅ヲ増加イタシテ外國米ノ輸入ヲ防止シマシタケレドモ、茲ニ一千万石ノ剩餘ガ現レタノデアリマス、一千万石乃至一千万石ノ剩餘ガ生ジタ、御承知ノ通り此一千万石ノ剩餘ノ中ニ今年ノ十一月端境期ニ於テ、後年度米穀年度ノ十一月ト致シマシテ、十一月ニ持越スモノ、即チ明年ノ米穀年度ニ持越スベキモノハ大抵ノ年ニ於テハ五百万石乃至七百万石ト致シテ居ルノデアリマス、今

年ハ之ヲ六百万以內ニ致シマシテモ茲ニ五百万石ト云フ純剩餘ガ生ジタノデアリマス、此點カラ見マスルト當年ノ米價ノ大暴落ガ始マリマシタ原因ガ明瞭デアリマスガ、朝鮮、臺灣ニ於ケル大豐作ニ依ッテ一千万石ハ例年ヨリハ多イト云フ結果ガ現ハレタノデアリマシテ、之ヲ平年作ト致シマスレバ人口食糧問題ノ大體カラ見マスルト、朝鮮ニ於キマシテモ、内地ニ於キマシテモ、相當將來ノ米ヲ主ナルモノトシ、麥其他ニ於テ食糧ノ充實ヲ圖ル施設ハ相當ニ進メテ參ル必要ガアルノデ、從來ノ施設ヲ茲デ中止若クハ著シイ程度ニ於テ緩和スルコトハ如何デアラウカト致シテ、當局ニ於テハ此施設ヲ改メル考ハ有ッテ居リマセヌ、ソレカラ御話ノ食糧以外ニ米ヲ工業用ニ使フ考ヲ以テ調節シ、幾分タリトモ政府ノ買入ヲ少クスル方ト云フ御考ハ至極御同感デアリマス、唯事情ヲ申シマス、從來這入りマスル外國米最少ノ數量ト致シマシテモ一年百四五十萬石……百七十八萬石這入ッテ來マス、其中ノ過半ハ所謂碎ケ米ト申スモノデ、或ハ飼糧、或ハ味噌、醬油、就中「オコシ」ナント云フ方ニ使ハレテ居ル外國米ガ非常ナアイ値ヲ以テ這入ッテ來ルノデアリマスカラ、先般モ政府ガ持ッテ居リマスル古米ハ此邊

ニ利用出來マイカト色ニ調査モ致シマシタガ、マダ外國カラ這入リマスル碎ケ米ニ競争シテ行クト云フコトニ參ラスノデアリマス、唯申上ゲル迄モナク相當古イ米ヲ外國ニ賣捌キマシテ數量ノ調節ヲ圖ルコトノ爲ニ、今日ハ既ニ七十万石位外國ニ出シテ居ル、今後ハ御話ノコトハ十分考慮シナケレバナリマセヌガ、如何ニモ暹羅ガ條約國デ日本ノ輸入制限ト云フ方ニ入ラス條約上ノ關係ガアリマシテ暹羅カラ多ク碎ケ米ガ入テ來ル、是ガ安イ爲ニ民間デモ使フト云フ事情ガ茲ニアルコトヲ一ツ御承知願ヒタイト思ヒマス

○子爵土岐章君 モウ一ツ伺ヒタイノデアリマスガ、從來政府ガ米ノ買上ゲヲナサデ居ラシヤルノデアリマスガ、其米ノ貯藏中ニ於テ相當ノ步減リガアルト思ヒマス、私ノ承知シテ居リマスル範圍デハ貯藏中ニ穀象蟲其他ノ害蟲ニ依ッテ減損ヲ來スモノハ一割近クモアルヤウニ承知シテ居リマスルガ、今日政府ノ貯藏シテ居ラレル所ノ米ニ於テ果シテ買上ゲノ數量トソレカラ賣出サレルマデニ於ケル所ノ減損、其間ノ步減リハドノ位ノ見込ミニナッテ居リマスルカ、御伺ヒテ致シマス

○國務大臣(町田忠治君) 當局トシテハ常ニ其點ニ最モ留意ヲ致シテ各米穀市場ヲ督勵シテ居ルノデアリマス、煙蒸等ニ依ッテ努メテ質ノ惡クナルコトト數量ノ減ルコトヲ防イデ居リマスガ、今ノ御尋ニ對シテハ私ヨリモ農務局長カラ説明ヲ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ農務局長カラ其事情ヲ申上ゲマス

○政府委員(石黒忠篤君) 只今土岐子爵ノ御尋ノ買上ゲヨリ實却ニ至リマスル迄ノ間ニ於ケル減損ノ程度ガドウアラウカト云フ御質問デゴザイマス、是ハモノ自體ガ傷ミマス或ハ蟲ニ食ハレマスト云フヤウナコトニ依リマシテノ所謂枿減リ、枿減リハ依當リ五合位一箇年ニ減ルコトカト從來ノ經驗上考ヘテ居リマス、尙ホ御質問ハ新米デ買ヒマシテ古米、若クハ古米デ賣リマスル間ノ保管料トカ或ハ古米ノ格下ゲノ古米格ト云フヤウナモノニ付テノ御質問デアリマシタデセウカ、如何デゴザイマセウカ、枿減リダケ申上ゲレバ只今申上ゲマシタヤウナ次第デアリマス

○子爵土岐章君 勿論凡テノ枿減リト云フコトヲ含ンデ居ルノデアリマスケレドモ、從來害蟲ニ依ッテ步減リヲスルト云フコトガ非常ニ大デアルニ拘ハラズ、農林省當局ニ於テハ此ノ點ニ對シテ十分ナル御注意ヲ拂ッテ御出デニナラヌヤウニ私ハ考ヘテ居リマスノデ實ハ何ッタクデアリマス

○政府委員(石黒忠篤君) 只今マデノ實驗デ申シマスト云フト、一箇年ニ於テ依當リ五合ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスルガ、其程度ガ事實上ノ結果デゴザイマス、而シテ之ニ對シマシテハ年々約二回、平均シテ申シタラ二回、煙蒸ヲ致シマシテ害蟲ノ防除ヲ致シテ居リマス次第デアリマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) チョット申上ゲマスガ、農林大臣ハ貴族院ノ本會議ノ方デ答辯セラレル趣デ約十五六分缺席シタイト云フコトデアリマシタガ、農林大臣ガ御見エニナルマデ政府委員ノ方カラ御答辯ヲ願ッテ御宜シナケレバ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス

○橋本圭三郎君 チョット今ノコトニ付テ序デニ伺ヒマスガ、今度失業救済ノ關係カラ金ヲ澤山、低利資金ヲ廻サレテ、サウシテ失業救済ト云フテハ惡イカ知ラスガ、農民ノ窮狀救済ヲスル爲ニ巨額ノ低利資金ヲ出サレテ、サウシテ段々政府當局ノ御勸誘ニ依ッテ百姓ガ自分自身貯藏スルコトヲ勸誘セラレタコトハ結構ナコトデアリマスガ其米ハドウ云フヤウナ所ニ貯藏シテアリマ

スカ、多分政府ノ建設セラレタヤウナ完全ナ庫デハナイデアリマセウガ、風モ這入ルシ、雨ハ這入ラヌカモ知レマセヌガ、マア比較的不十分ナ庫デアラウト思ヒマス、サウシテ又殊ニ色々ノ乾燥ノ設備トカ云フヤウナモノガナイデセウカラ大分惡クナルデアラウト思ヒマスガ、非常ニ水氣ノタラントアル新潟ノヤウナ所ト、ソレカラ乾燥シテ居ル……場所ニ依テハ多少違ヒハアルデアリマセウケレドモ、ドレ位保チマセウカ、

○政府委員(石黒忠篤君) 只今橋本サンノ御尋ノ低利資金ヲ廻シマシテ、米ノ貯藏ニ便宜ヲ與ヘテ居リマスノハ、是ハ失業救済ノ方ノ低利資金ト違ヒマシテ、三千万圓バカリ昨年ノ十二月ニ融通ヲ致シマシタノデアリマスガ、之ヲ端境マデ保管ヲシテ宜シイト云フ決心ノモノニ對シマシテ、低利ヲ以テ其間ノ保管ニ對シテ融通ヲシテヤル、而シテ其條件ハ農業倉庫、或ハ販賣組合ノ庫ト云フヤウナ所ニ持ッテ參リマシテ、サウシテ保管ヲ致スト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、尙ホサウ云フ設備ノ無イ所ニ於キマシテハ多少不完全ナ所ガアルト存ジマスルガ、農業倉庫ノ分布モ今日ハ相當ニ行渡ッテ居ルノデゴザイマシテ、其棟ノ數ニ

○政府委員(石黒忠篤君) 只今橋本サンノ御尋ノ低利資金ヲ廻シマシテ、米ノ貯藏ニ便宜ヲ與ヘテ居リマスノハ、是ハ失業救済ノ方ノ低利資金ト違ヒマシテ、三千万圓バカリ昨年ノ十二月ニ融通ヲ致シマシタノデアリマスガ、之ヲ端境マデ保管ヲシテ宜シイト云フ決心ノモノニ對シマシテ、低利ヲ以テ其間ノ保管ニ對シテ融通ヲシテヤル、而シテ其條件ハ農業倉庫、或ハ販賣組合ノ庫ト云フヤウナ所ニ持ッテ參リマシテ、サウシテ保管ヲ致スト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、尙ホサウ云フ設備ノ無イ所ニ於キマシテハ多少不完全ナ所ガアルト存ジマスルガ、農業倉庫ノ分布モ今日ハ相當ニ行渡ッテ居ルノデゴザイマシテ、其棟ノ數ニ

○政府委員(石黒忠篤君) 只今橋本サンノ御尋ノ低利資金ヲ廻シマシテ、米ノ貯藏ニ便宜ヲ與ヘテ居リマスノハ、是ハ失業救済ノ方ノ低利資金ト違ヒマシテ、三千万圓バカリ昨年ノ十二月ニ融通ヲ致シマシタノデアリマスガ、之ヲ端境マデ保管ヲシテ宜シイト云フ決心ノモノニ對シマシテ、低利ヲ以テ其間ノ保管ニ對シテ融通ヲシテヤル、而シテ其條件ハ農業倉庫、或ハ販賣組合ノ庫ト云フヤウナ所ニ持ッテ參リマシテ、サウシテ保管ヲ致スト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、尙ホサウ云フ設備ノ無イ所ニ於キマシテハ多少不完全ナ所ガアルト存ジマスルガ、農業倉庫ノ分布モ今日ハ相當ニ行渡ッテ居ルノデゴザイマシテ、其棟ノ數ニ

於キマシテ既ニ五千ヲ越シテ居リマス、建坪ニ於キマシテ二十二万、約二十三万坪ト云フヤウナコトニナッテ居リマス、ソレデ平常ノ年ノ農業倉庫ノ利用ハ必ズシモドノ倉庫モ、ドノ倉庫モ一杯ニヤッテ居ルト云フコトデナイノデ、可ナリ出入リニ付キマシテハ其生産地ノ米ガ總テ這入ルト云フコトニナッテ居ラヌヤウナ所モ相當アルノデアリマスガ、本年ハ御承知ノ通りニ豐作デアリマシタガ爲ニ、倉庫ガ可ナリ満庫ヲ致シテ居ルノデアリマス、三千万圓ノ資金ハサウ云フ農業倉庫ノ保管米、或ハ販賣組合ノ庫ノ中ノ米ト云フヤウナモノヲ主ト致シマシテ、銀行ノ方カラ融通セラレルコトニ相成ッテ居リマスコトデアリマス、從ヒマシテ大部分ニ付キマシテ、ハ政府倉庫ホドノ完全ナ保管ト云フ譯ニハ是ハ參リマセヌ、併ナガラ農業倉庫ハ相當建設ニ付テモ補助ヲ致シテ居リマスル關係上、建テ方ニ付テ色々監督ヲ致シテ居リマスルカラ、害蟲ノ燻蒸ハ出來ルヤウニナッテ居ルモノガ殆ド大部分デゴザイマス、ソレカラ只今水分ノコトニ付テノ御話ガゴザイマシタガ、本年度ノ米ハ政府ガ先般二回ノ買入レヲ致シマシタ其結果、取敢ズ取調ベテ見マシタ所ニ依リマスルト、例年ヨリモ水分ガ多少多イヤウニ

考ヘテ居リマス、マダハッカリシタ調ベヲ致スホドノ時日ヲ得テ居リマセヌガ、取敢ズ調ベマシタ所ニ依リマスルト多少多イノデアリマス、此點ガ甚ダ心配ニナッテ居リマスルガ、併シ是ハ東北ノコトデアリマシテ、關西ニ於テモ一二ノ縣ハゴザイマスガ、九州アタリハマダダソナニハ現ハレテ居リマセヌヤウデアリマス

アリマスガ、ソレニモ載セテ置キマシタヤウニ今御話ニナリマシタヤウナ米産地ニ重キヲ置キマシテ調ベルコトニ致シテ居リマス、併ナガラ米産地トシテソレ程ノ大米産地ト云フ程度ニ達シテ居リマセヌモノデモ全國ノ生産費ヲ見ル關係上ニ相當ニ調査ハ致シテ平均ノ中ニ入レル積リデアリマス、大米産地ノミノ生産費ヲ取りマシテ調ベルト云フコトモ一ツノ方法カト考ヘマスルガ、併シ大米産地、即チ多クノ場合ニ於テ縣外ニ澤山ノ米ヲ出ス地方デアリマスガ、縣外移出ヲソレ程イタシマセヌデモ、縣内ニ於テ相當ノ生産ヲシ、同時ニ縣内デ消費ヲシテ居ル、縣外ニハ餘リ出ヌト云フヤウナ米産地モアリマスルノデ、ソレ等ノモノモ考ヘナケレバナリマセヌノデ、生産額及縣外移出額兩方ヲ見マシテ、ソレ等ニ依リマシテ適當ナ重要度ヲ縣ニ付テ考ヘマシテ、サウシテ或ハ六十戸ヲ選定シテ調べ、或ハ四十戸ヲ選定シテ調べ以下三十戸、二十戸、十戸ト云フ風ニ全國ノ府縣ヲ分ケマシテ調べマシテ、尙ホ全國的ニ平均ヲ致シテ中庸ナル生産費ヲ見ヤウト云フヤリ方デアリマス、尤モ中庸ナル生産費ト云フコトヲ大體ノ目標ニ致シテ居リマスルカラ、各地方ニ於キマシテ農家ヲ選定イタシマスニ際シテ、

選定ヲ十分ニ慎重ニ致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ調べ上ゲマシタモノヲ平均ヲ致シマスル際ニ、調べタ結果ガ著シク高イトカ著シク低イトカ云フヤウナモノハ相當取除ケマシテ、サウシテ茲ニ典型的ノ一團ヲ爲ス生産費額ヲ平均ヲ致スト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

○子爵土岐章君

私モモウ一ツ伺ヒタイノデアリマス、暫ラク率勢米價ニ依ッテ米ノ買上ゲヲナサレタ後ニ生産費及經理費ヲ基礎トシテ米ノ買上ゲヲ行ハレタノデアリマスガ、其生産費ノ調査ニ付テハ政府當局トシテハ大體如何ナル標準ヲ以テナサレタノデアリマスカ、ソレハ恐ラク新潟地方トカトフヤウナ比較的米産ノミヲヤッテ居ル地方ト、ソレカラサウデナイ米産地トノ間ニハ非常ナ違ヒガアルト思ヒマスガ、政府ハソレゾレ地方別ニ依ッテ米ノ生産費ヲ御調べナル御豫定デアリマスカ、ソレトモ又平均シテ日本全國トシテノ生産費ヲ御出シナル御考デアリマスカ、其點ヲ……

○政府委員(石黒忠篤君)

生産費ノ調査ニ關シマシテハ、御手許ニ實行案ト云フ農務局ニ於キマシテ一應立テマシタ案デゴザイマスガ、御參考ニ申上ゲテゴザイマスノデ

○子爵土岐章君

モウ一ツ伺ヒタイノデアリマスガ、生産費ニ對シテノ主ナルモノハ肥料ト考ヘルノデアリマスガ、肥料ニ對シテハ、從來ハ硫酸「アンモニヤ」其他ノ金肥ヲ使ッテ居リマシタガ、私達先達テ東北地方ヲ觀察シテ參リマシタガ、次第ニ厩肥トカ或ハ堆肥トカ云フヤウナ自給肥料ヲ段々使フヤウニナッテ參リマスヤウナ傾向ガアリマスルガ、サウ致シマスルト云フト、從テ其生産費ノ上ニモ相當ナ變化ヲ來スコトト考ヘマスルガ、農林省當局トシテハ、恐ラク此基礎的數字ニ如何ナル計數ヲ土臺トシテ御考ヘニナッテ、其調査ヲ御進メニナリマスカ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(石黒忠篤君)

土岐子爵ノ御質問ハ生産費ヲ調べ上ゲマスル際ニ非常ニ重要ナ點ニ御成リマスルノデアリマシテ、外ノ工業生産費ヲ調べマスル時ト比較イタシマスルト云フト、農産物ノ生産費ノ調査ハ、

御承知ノ通りニ自家勞働デアルトカ或ハ農業ノ生産物ノ自給デアルトカト云フヤウナ問題、現物ヲ如何ニ評價スルカト云フ問題ガ實ニムヅカシイノデゴザイマシテ、私共十年十數年前カラ農家ノ經濟調査ヲヤテ居リマスル際ニモ、ソレハ非常ニムヅカシイコトヲ染ニ承知イタシマシタヤウナ譯デアリマス、ソコデ此自給肥料ノ價格ノ計算デゴザイマスルガ、例ヘバ綠肥ノヤウナモノヲ計算ヲ致シマスル際ニ、曾テハサウ云フモノノ賣買ガアツタナラバ、稀デアツテモ、其實價ノ價格ヲ持テ來テ、別ニ買ツタノデハナイケレドモ、同ジ綠肥ナリ厩肥ナリヲ其時價デ生産シタナラバ、ソレニ引當テ、ヤルト云フ方法ヲ採ツタノデアリマスガ、是ハナカ／＼何レノ村ニアツテモ賣買ガアルトハ云ハレズ、アツテモ極メテ少量デアリマスカラ、ソレヲ採ルコトハ不適當デアルト云フコトヲ考ヘマシテ、結局自給肥料ノ價格ノ算定方法ヲ、技術ノ方ノ人達ヲ集メマシテ、十分ニ協議ヲ致シマシテ、其結果大體ニ於キマシテ自給肥料ハ其肥效ノ如何ト云フコトヲ、種類ニ依ッテ考ヘマシテ、サウシテ窒素分デアリマスルナラバ窒素分ノ價値ヲ算定イタシマスル一ツノ標準ヲ作リマシテ、ソレニ依リマシテ各種ノ自給肥料ヲ

大體百貫當リノ評價額ト云フモノヲ一定ヲ致シテ、ソレヲ各地方ニ渡シテ置キマシテ、實目ニ依ッテ其評價ヲ掛ケテ、生産費ヲ記帳スルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、サウシテ幾多ノ堆肥デアルトカ、紫雲英デアルトカ、青刈大豆、野草、稻ノ藁、下肥、或ハ鶏糞ト云ツタヤウナ各種ノモノニ付キマシテ、窒素、燐酸、加里ノ單位カラ見マシテ、百貫當リノ評價額ノ標準ヲ我々ノ局デ以テ相談ヲ致シマシテ極メタモノヲ用ヒルト云フヤリ方デヤツテ参リタイト考ヘテ居リマス、之ニ關シマシテハ、隨分勞力ガ重ナ問題ニナツテ居ルカラ、勞賃アタリヲ考ヘタ方ガ宜イデハナイカト云フヤウナコトモ、サン／＼論議ヲシテ見タノデアリマスガ、ドウモ此方法ガ一番宜カラウト云フコトニ相成リマシテ、其方法ヲ以テヤルコトニ致シテ居リマス

○橋本圭三郎君 チョット今ノ事ニ付テ序ニ伺ヒマスガ、生産費調べトソレカラ家計調べト云フノハ、昭和六年カラシテ實行セラル、ノデアリマスガ、而シテ其豫算ハモウ既ニ請求セラレタノデアリマスガ、又御見込ハ何年位カ、レバ大概御出來ニナルト云フノデアリマスガ、其點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(石黒忠篤君) 御尋ネノ生産費

及家計費ノ調査ハ御協賛ヲ經マスレバ生産費ニ付キマシテハ四月直チニ記帳ヲ始メタイト考ヘテ居リマス、而シテ稻作デアリマスルカラ、多クノ地方ニ於キマシテ、四月カラ始メマスレバ多少無理ガゴザイマス、多少無理ガゴザイマスケレドモ、先ヅヤレヌコトハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居リマス、サウシテソレヲ十二月迄ニハ集計ヲスルト云フコトニ努力ヲシテ見ル積リデゴザイマス、此十二月迄ニ纏メルコトガ可能ナリヤ否ヤト云フコトガ問題デゴザイマスガ、昭和五年度末ニ付キマシテ甚ダ僅カデアリマスガ、十數縣ニ互リマシテ二戸ツ、記帳ヲサセテ、ソレヲ取纏メルコトヲ可能ナリヤ否ヤヲ試験的ニヤツテ見マシタ、ソレニ依リマスト云フト、大體出來ルコトノヤウニ思ハレマス、併シ今度ハ戸數ガ相當ニ多數ニナリマスノデアリマスガ、其點ガ昨年ノ研究ノ如クニ参リマスガ、ドウデアリマスガ、十分ノ努力ヲ要スルコト考ヘテ居リマス、ソレカラ家計費調べノ方ハ内閣統計局ニ於テ大正十五年ニ調べラレタ經驗ヲ有ッテ居リマスガ、其經驗ニ依ッテヤツテ貴フコトニ致シテ居リマス、是ハ本年ノ九月カラ記帳ヲ始メルコトニシテ、本年ノ八月ニ終ルコトニヤツテ行ク積リデ居リマ

ス、尤モ家計調査ノ方ハ、消費者ノ比較的小サナ家計ノ人達ノ記帳ヲシテ貴フノデアリマス、市街地又ハ工業地ニ於ケル調べデアリマスルガ故ニ、農家ノ生産費ノ如ク現物デアルトカ、自家勞力デアルトカ云フヤウナ評價ノ面倒ナ問題ガゴザイマセヌ、總テ金ノ出入レノ經濟ニナツテ居リマス、ソレト季節ニ依ッテ一年ノ作物或ハ半年ノ作物ト云フヤウナ季節ヲ要スルモノガ割合ニナイノデアリマス、ドノ月ノ家計モ大體ニ於テ同ジヤウナコトニナツテ居リマスルカラ、一年全部ヲ取ルコトガ望マシクハアリマスケレドモ、時ニ依リマシテハ之ヲ途中デ試ニ取ツテ見ルコトモ出來ヤウカト思ヒマス、其意味デ若シ途中デ取ツテ見ルコトニ致シマスレバ、是ハ必シモ來年ノ八月マデデナケレバ出來上ラヌトハ申上ゲラレナイノデアリマス、併シ理想ト致シマシテハ一年付ケサシテ見ルト云フコトガ適當ダラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ其兩者ノ調べガ、然ラバソレデ完全ナリト認メルカドウカト云フ問題ニナリマス、是ハ實際ニヤツテ見マセヌ以上ハ、其結果ヲ見マセヌ以上ハ判定ガ困難ダト存ジマス、出來タモノヲ御覽下スツテ、一般ニ之ヲ以テ大體適當デアルト御覽ニナルカドウカト云フ問題ハ、是ハ

結果ヲ俟タナケレバナラヌト思ヒマス、私

共ハ十分ナ結果ヲ初年カラ得ルヤウニ、何

處マデモ努力ヲ致ス積リデ居リマス、尙ホ

之ヲ年々繰返シテ何時マデモヤルカドウカ

ト云フ問題ニナリマス云フト、是ハ相當

長イ……是ハ數年ヤリマシタナラバ、毎年

同ジコトヲ詳細ニ繰返シテ行カクテモ宜

イ所ガ出來ヤシナイカ、又或種ノ率ト云フ

モノガ分ルナラバ、ソレニ依リマシテ推定

的ニヤルコトニナリハシナイカト考ヘテ居

リマス、ソレハ數年ノ調査ノ結果ヲ見ナケ

レバ斷言ハ出來マセヌ、之ニ要スル經費ハ

大體ニ於キマシテ、生産費ノ方ニ於キマシ

テ十二萬圓見當ノモノヲ要求ヲ致シテ居リ

マス、家計費ノ方ニ於キマシテ六萬圓……

六萬五千圓ヲ要求イタシテ居リマス、是ハ

追加豫算デ以テ只今議會ニ提出イタシテ居

ルノデアリマス

○橋本圭三郎君 色ミノコトニ飛ビマスケ

レドモ、曩ニ大臣カラ御説明ノ中ニ暹羅、

北米合衆國等ト言ハレマシタガ、ソレ等ノ

中ニハマダ何處ガ這入テ居リマスカ、ソレ

カラモウ一ツハ其條約國ソレノ條約ノ

期限ハ何時盡キルノデアリマスカ、ソレガ

盡キレバ其時カラ此法律ガ完全ニ施行セラ

レルノデアリマスカラソレダケヲ一ツ……

○政府委員(石黒忠篤君) 暹羅、米國ノ外

ニ於キマシテハ「ソヴィエト」聯邦、加奈

陀、海峽植民地及ビ錫蘭、香港、蘭領印度、

墨西哥ト云フヤウナ所ガ、是ハ總テ暹羅ノ

條約ヲ本トシマシテ、最惠國約款ニ依テ此

種ノ權利ヲ得テ居リマス譯デアリマス、而

シテ暹羅條約ガ本デゴザイマスルガ故ニ、總

テノ國ノ條約モ其點ニ關シマシテ、最惠國約

款ノ本ノ暹羅條約ト云フモノノ期限ニ支配

セラレルコトト考ヘマス、從ヒマシテ千九

百三十四年ガ期限デゴザイマス

○子爵土岐章君 唯今日本酒ニ米ガ相當ニ

使ハレマスルガ、私ノ承知シテ居リマスル

程度デハ、次第ニ朝鮮米ガ日本米ニ代テ使

ハレルト云フコトデアリマスルガ、政府當

局デ日本酒ニ使ハレル米ノ分量ニ付テノ部

類別、其他米ガ製菓……菓子ノ原料、或ハ

其他ノ食料品ニ使ハレテ居ル統計ガ若シ御

有リデシタラ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(石黒忠篤君) 米ノ食用以外ノ

各種用途ニドウ使ハレルカト云フ若シ御尋

デゴザイマシタラバ、ソレハ差上ゲテ置キ

マシタ米穀要覽ノ内ニ用途別ノ表ガゴザイ

マスカラ、ソレニ依ッテ御覽ヲ願ヒタイト存

ジマス、只今ノ御尋ハ初ノ方ニ於テ朝鮮米

ガト云フ御話ガゴザイマシタカラ、或ハ朝

鮮米ガドウ云フ種類ノモノニ幾ラ使ハレテ

居ルカト云フコトノ御尋カト存ジマスガ、

ソレデゴザイマス云フト、只今チョット申

上ゲルダケノ統計ヲ何等持マセヌ、朝鮮

米ガ内地ニ於テ酒造ノ原料ニナリマス云

フ傾向ハ、此一兩年ガ特ニ著シクナッテ來タ

ヤウニ考ヘマス、殊ニ本年ハ非常ニ其傾向

ガ著シイト云フコトヲ聞イテ居リマス、居

リマスルガ、ドノ位ノ石數ガ酒造ニ用キラ

レタカト云フコトハ、チョット只今申上ゲル

ダケノ材料ヲ持ッテ居リマセヌ

○橋本圭三郎君 此米穀法施行ニ關スル綱

領ノ要項ノ中ノ第八ニ「最低價格及最高價

格ハ毎年十二月之ヲ定ムルコト」ト書イテ

アリマスガ、此十二月ト云フコトハドウ云

フ所カラ出デ居マスカ、チョット御尋ネ致シ

タイ

○政府委員(荷見安君) ソレハ大體只今ノ

米穀政策ノ方ノ立前カラ致シマス、米穀

年度ヲ十一月カラ十月マデ立前ニ致シテ居

リマスカラ、出來マスレバ十一月ニ決メマ

スコトガ一番適當ナコトニナルト考ヘテ居

リマス、併シ今度法律ヲ設ケマシテ、最高

價格、最低價格ノ基準ヲ定メマスノニ、生

産費ト云フモノヲ一ツ材料ニ入レルト云フ

コトニ致シマス、米ノ生産ノ狀況カラ致

シマシテ、ドウ致シマシテモ十一月一杯ヲ

經過イタシマセヌト、其生産費調ガ出來上

リマセヌノデ、ソレデ出來ルダケ急ギマン

テ、十二月ノ中ニ其事ヲ定メタイト斯ウ云

フ積リデ十二月ニ致シマシタ、尙ホ生計費

ノ調査デゴザイマシテモ、アレハ數理ノ方

ノコトデ、統計局ノ方デ後三箇月ダケ見テ

置カナケレバナラヌト云フコトデアリマス

カラ、急イデモ十一月一杯カラナケレバ

出來マセヌノデ、ソレデ十二月ト云フコト

ニ致シタノデアリマス

○上山滿之進君 チョット御尋ネシタイノ

デスガ、生産費ノ調べガ、政府ノ調べト是

ハ先刻御答ヘニナッタ通り、不完全デアルト

云フコトヲ仰セニナッタノデアリマスガ、先

ヅ大體今日ノ程度デハ政府デ宜カラウト

思ッテオ出デニナル調べト、帝國農會ノ調べ

ト大變ニ違フノデ、確カ五圓見當違フト思

ヒマスガ、ソレハドウ云フ譯デアリマス

カ、ソレカラ帝國農會ガ自分デ發表シタカ

ドウカ知リマセヌガ、其違フ理由ヲ朝日新

聞ダッタト思ヒマスガ、此間三日間連載シテ

出シテ居リマス、ソレデ其説明ニ依レバ、

無論帝國農會ノ筋カラ出タト思ヒマスカ

ラ、帝國農會ノ調べガ正シイト斯ウ云、テ

居ルノデアリマス、政府ノ之ニ對スル御考

○政府委員(石黒忠信君) 帝國農會ノ調査

モ、五年度産米ニ付キマシテハ、農林省ノ試ミニヤリマシタ記帳調査ト、殆ド同ジ様式ニ依テ帳簿ヲ拵ヘマシテ、サウシテ多數ノ農家ニ配布ヲシテ記帳ヲサセマスシ、先程土岐子爵ノ御問ヒニ對シマシテ私カラ御答ヘ申上ゲマシタヤウナ、自給肥料ノ評價ノ換算標準ナドモ持ッテ參リマシテ、參考ニシテ居ルヤウデアリマス、故ニ其調ベハ昨年マデノ農家經濟調査トカ、或ハ農業經營ノ改善デアルト云フヤウナモノノ爲ニ、記帳ヲ致シマシタ材料カラ引拔イテ出シマシタ米ノ生産費調ベヨリモ、餘程生産費調ベトシテ専門ニヤッタモノト考ヘラレマスル故ニ、尊重スベキモノデアルト思ヒマス、農林省ノ五年度産米ニ付キマシテヤリマシタノハ、先程申上ゲマシタヤウニ、斯ノ如キ記帳調査ガ十一月一ツパイニ出來上テ、十二月ニハ其集計ガ出來ルカドウカト云フコトノ試ミヲヤルノガ主タル目的デアリマシタノデアリマスカラ、經費モゴザイマセヌシ、從テ十二縣デアリマシタカ、十三縣デアリマシタカニ二戸位ヅ、調べタノデアリマシテ、數ニ於テ少イノデアリマスカラ、之ヲ以テ生産費調査ナリト云フノ

ガ、兩者ニ付テ豫メ御承知置キヲ願ヒタイ事項デアリマス、而シテ其兩者ノ間ノ相違ガ相當ゴザリマシタノハ、主トシテ土地資本利子ノ計算ト云フ所ニ在リハシナイカ、帝國農會ノニ付キマシテハ、自作農ノ調ベニ於キマシテ、土地資本利子ヲ算出イタシマスルニ當テ、其自作土地ノ値段ト云フモノガ幾ラノ時價ヲ有ッテ居ルカト云フコトヲ、色ニ附近ノ土地ノ賣買デアルトカト云フヤウナ事カラ推定ヲ致シマシテ土地ノ價格ヲ決メ、ソレニ對シテ四分ノ利廻リヲ以テ利子ヲ見タト云フヤリ方ニナッテ居リマス、農林省ノ調ベニ於キマシテハ、自作農ノ經濟ニ於ケル米作ノ生産費ヲ見ル場合ニ於キマシテハ、其土地ハ幾ラノ小作料ヲ支拂ッタナラバ借り得ル土地デアルト云フコトヲ見ルノデアリマス、土地ノ賣買ハ村ノ中ニ有ッタリ無カッタリ、偶、アッテモマルデ、等級ノ違ッタ土地ノ賣買モアッタリト云フヤウナコトニナルノデアリマス、私共前ニ調ベマシタ時モ之ヲ的確ニ捉ヘルコトハ非常ニ困難ゴザイマス、登記所等ニ於ケル賣買値段ト云フモノハ、是ハ極メテ正確ノモノデナイコトハ御承知ノ通りデ、ソレヲ捉ヘルコトガ困難デアリマスル點ト、モウ一ツハ今自作農ガ自分デ用キテ居ル自己

ノ土地ト云フモノモ、是モ外ニ都合ニ依ッテ貸シニ出ス場合ガアルシ、村内ニ同ジヤウナ土地ヲ小作ニ出シテ居ルコトハ、是ハ相當事例ガアル、而シテ小作農ト云フコトハ大抵地方的ニ一定ノ限度ガアリマシテ極テ居ル、故ニ其小作料ダケヲ拂ヘバ借りテ來ラレルモノデアルト云フ觀念カラ致シマシテ、之ヲ借りテ來テ出シテ居ルモノト見レバ宜クハナカラウト云フコトカラ、小作料ヲ以テ出サウト云フ式ヲ採ッタノデアリマス、而シテ其小作料ヲ米デ拂フノガ通例デアリマスルガ、金ニ換算スルノニハ、何時ノ米價デ以テスルカト云フコトニナリマス、ト、私ハ十一月末ノ地方ノ米價ヲ以テマシテ記帳ヲセシムルコトガ宜カラウ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、十一月ノ米價ガ宜イカ、何時ノ米價ガ宜シイカト云フコトニ付テハ、又色ニ論議ガアルヤウデアリマスカ、私共ハ十一月ヲ以テ適當ナリト考ヘテ居リマス、サウ致シマスト想像的ノ土地價格、ソレニ對シマシテ、四分ノ利廻リヲ見ルト云フヤリ方ト、大分其點ニ於テ開キガ出來ルヤウニ思ヒマス、ソレカラ違ヒノ出來マシタ第二ノ點ハ、田地ノ負擔ヲ致シマスル公課諸掛リト云フモノヲ、二毛作田ニ於キマシテ總テ米作ニ背負ハセテシマ

テ、裏作ト云フモノハ何等ノ負擔ヲサセナイ、斯ウ云フ式ガ帝國農會ノ式デアリマス、農林省ノ調べマシタ式ハ、米作ト若シ裏作ガアルナラバ、裏作等ニ對シテ各、諸收入ノ割合ニ應ジテ公課諸掛リト云フモノヲ負擔ヲセシメル、即チ例ヘバ一段ノ田畝デアリマスナラバ、米ト裏作ノ麥トノ兩方ニ分ケル、其分ケル割合ハ收穫物ノ價格ノ割合ニ依テ負擔セシメル、斯ウ云フ遣リ方ヲ執ッタノデアリマス、此點ニ於キマシテ公課諸掛リガ總テ米ニ掛ッテシマフノト、幾分カ裏作ニ分擔セシメルノトノ違ヒガ、又兩者ノ調査ニ於テ相違ヲ來シタ原因デアラウト考ヘルノデアリマス

○上山滿之進君 續ケテ御尋ネシマスガ、

帝國農會モ亦公ケノヤウナ機關デアアル、ソレデ農林省ノ調べノ方針ガ違ッテ居ルト云フコトハ、是ハ各、人ノ意見デアリマスカラ、已ムヲ得ヌコトデモアリマセウケレドモ、共ニ公平ナ立場ニ立ッテノ意見ヲ立テタモノト斯ウ思フノデアリマス、其意見ガ斯ノ如ク違ッテ居ルト云フコトハ寧ロ私ハ遺憾ヲ感ズルノデアリマスガ、ソコデ農林省ハモウ既ニ帝國農會ノ意見ニ付テ御研究ノ上デ、御答辯ノヤウナ工合ニ調査ノ方法ヲ御定メニナッタノデアリマスカラ、是ハ此後

ノ調査ニ於テ農林省ハ變ルコトハナイト思フノデアリマス、サウ考ヘマスト誠ニ困タコトハ農林省ノ調査ガ出來テ……片方モ公ケノ機關トデモ申シマセウカ、帝國農會ノ調べガアル、ソレガ出來テ、サウシテ兩方トモ差異ガ少ナケレバ宜シウゴザイマスガ、可ナリ大キナ差異ガアル、茲ニ生産費ヲドノ方式ヲ以テセラレルカ、ドノ生産費ヲ採ルベキカト云フコトニ付テ、重大ナル問題ガ起リハシナイカト思ヒマスガ、其邊ノ御考ヘハドウデアリマセウカ

○政府委員(石黒忠篤君) 農林省ノ方ト致シマシテ、帝國農會ノ調べノ方針モ能ク承知シタ上デ、今御説明申上ゲタヤウナ方針ヲ執リタト思フガト云フ御話デアリマスガ、ソコハ必ズシモサウデナイノデアリマシテ、帝國農會ハ帝國農會トシテ、別段農林省ニ相談シテヤッタ譯デモナク、從ヒマシテ農林省ト致シテ斯様ナ方針デアルト云フコトハ承知シテ居リマシタコトト存ジマス、私共ハソレニ拘ラズ帝國農會ガ違フ方法ヲ以テ算出スルデアラウト云フコトハ承知ラシテ居リマセヌデアッタノデアリマス、併シ農林省ト致シマシテ帝國農會ノ調査ノ方針ニ付キマシテ、是ハ考ヘ考ヘデヤルノデアリマスカラ、サウ干涉ガマシイコトヲ

言フ譯ニモイカヌト思ヒマス、一致スルコトガ願ハシイコトデアアル、併シ一致ラセヌ場合ニハ致方ナイト考ヘテ居リマス、サウ致シマス御話ノヤウニ、茲ニ生産費ニ關シマシテ二様ノモノガ出テ參ッテ、何レガ適當ナリヤ、各主張スルト云フコトニナルト隨分厄介ナコトニナルト思ヒマス、併シ農林省ト致シマシテ只今迄、先ニ申上ゲマシタ調査ノ方針ガ最モ適當ナリト考ヘテ居リマスノデアリマスカラ、恐ラク今後モ此方針ヲ以テ進ムコトト信ジテ居リマス、此方法ニ付テ非常ナ缺陷ヲ見出スコトガ、或ハ外ニヨリ良イ方法ヲ見出スコトガアレバ兎モ角、只今ノ所申上ゲマシタ調査方法ヲ以テ進ム決心デ居ルノデアリマス、而シテ帝國農會ト調べノ結果ガ違フノハ、調査方法ニ付テ主トシテ二點ガ違フ、其何レガ宜イカト云フコトハ各ノ主張ヲ明カニシテ、廣ク輿論ノ批判ヲ仰グ外方法ハナカラウカト存ジマス、私共ハ農林省ノヤリ方ノ方ガ、ヨリ合理的ナリト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○絲原武太郎君 關聯シタ問題デアリマスガ、只今ノ御説明ヲ承ハリマス、要スルニ農林省ノ方ハ土地ノ生産機能ニ重キヲ置イテ御考ヘニナッテ居ルヤウデゴザイマス

ルシ、又帝國農會ノ方デハ一般ノ生産經濟ノ理論ヲ基準トシ論據トシテ、而シテ生産ノ原價ノ構成ヲ要素トシテ取扱ハレテ居ルノデアアル、斯ウ云フヤウナ兩者ノ根本的ノ方針ガ變テ居ルヤウデゴザイマスガ、之ニ付キマシテ私ガ伺ヒタイト思ヒマスコトハ如何ニモ農林省ノ方ノ御説明ニ依ルト、假ニ二毛作デアリマスレバ、裏作ガアルナラバ裏作ニ對シマシテモ租税ノ負擔ヲサセルト云フヤウナ御説明デゴザイマスガ、此一般民家ノ裏作ニ依リマシタ所ノ純利益、所謂經濟的ノ利益ト云フモノハ極メテ是ハ僅少ナモノデアリマシテ、僅ニ餘剩勞力ヲ之ニ用ウルト云フ、殆ト是等ハ副業的ノ仕事トシテ事實上一般ニヤッテ居ルノデアリマスカラ、此土地資本ノ利子ニ付キマシテモ、此小作料ニ依リマシテ小作料主義ヲ御執リニナルト云フコトニナリマス、小作料ト云フモノハ只今御説明ニナリマシタ通り十一月頃ノ米價ニ依ッテ之ヲ御計算ニナルヤウデアリマスガ故ニ、是ハ年々異ラタ價格ガ茲ニ現出スルコトニナルモノト思ヒマス、殊ニ此點ハ後デ御伺ヒ致シタイト思ヒマスガ、今日ノ如ク臺灣米ノ多數ノ數量ガ内地ニ移入シテ來マサユナ時ニハ、其移入ノ數量ガ多イヤウナ時期ニ於キマシテ

ハ、非常ナ米價ノ變動ヲ來シマスノハ事實デゴザイマス、又是ガ爲メ此内地ノ米ノ生産高ト云フモノニ付キマシテモ、相當ナル變化ヲ及ボスモノト假定シテ宜シイト思フ、斯カル浮動性ナ小作料ト云フモノノ代價ヲ基準トシマシテ、之ニ依リマシテソレゾレ其目標ヲ御定メニナルト云フコトハ、稍不安心ノヤウナ點ガアリマスカラ、之ヲ決定ニナリマスニハ、今少シ根本ノ理由ヲ詳シク承テ置キタイト思ヒマス

○政府委員(石黒忠篤君) 只今絲原サンノ御尋ノ、又御感想ノ點ハ御尤ノヤウニモ拜聽イタシマス、帝國農會等ニ於キマシテモ、何カ聲明書ノモノヲ岡田幹事ガ出シマシタコトニ付テハ、矢張り同ジヤウナ點ヲ申出テ居リマス、私申上ゲマシタ以上ニ、根本的ノト云フ御話デゴザイマスガ、私共ハ米ノ生産費ヲ出スノニ實地調査ヲ致シマスル上ニ於テ、申上ゲマシタヤウナ調査方法ガ最モ實際ニ合致イタシテ適當ナリ、斯ウ考ヘタダケノコトデゴザイマス、全ク土地ノ賣買ノナイ所ニ於テ、此土地ヲ若シ賣ルトシタナラバ、幾ラデアラウカト云フコトヲ豫想ヲ致シテ、サウシテ土地ノ賣買價格ヲ決メテ、ソレニ持ッテ行ッテ幾ラノ利廻リデ見テ宜イカ、公債ノ利廻リト同ジニ見

テ宜イカ、或ハソレヨリ下ニ見テ宜イカ、農業者ト云フモノハ餘程困難デアルカラ、モウ少シ餘計ニ見ナケレバナラヌト云フヤウナコトノ考ヲ如何ニ決メルカト云フコトハ、是ハナカ／＼困難ナコトガ澤山重ナルノデアリマス、私共モ嘗テハ此點ニ付テ土地ノ賣買價格調査主義ヲ執ツタコトモゴザリマス、又對數表ノヤウナ表ヲ拵ヘマシテ、四分ト見ル場合、四分五厘ト見ル場合、三分五厘ト見ル場合ト云フヤウナ表ヲ拵ヘマシテ、判斷者ノ如何ニ依ッテ直チニ生産費ガ出テ來ルヤウナ表モ拵ヘタコトモゴザリマス、ゴザイマスガソレヲ拵ヘルニハ可ナリ色々ナ豫斷ヲ致サナケレバナラヌト云フコトガ、調査上如何デアラウカト私共考ヘマスルノデ、結局小作料ト云フモノヲ以テ押ヘリノガ、一番宜シイ、斯ウ考ヘタ次第デアリマス、ソレカラ裏作ノ負擔ノコトハ、是ハ私共初メヨリ總テヲ稻作ニ負擔セシメルト云フ主義ヲ調査上執ツタコトハゴザイマセヌ、裏作ノ獎勵デアリマスルカ、農家經濟ニ餘裕ヲ與ヘルヤウナ方策デアリマスルトカ云フモノハ、是ハ問題ガ稍、別デアルト考ヘマス、茲ニ於キマシテハ米ノ生産費ト致シテ正確ナモノヲ甚ダ捉ヘニクイガ、成ルベク正確ニ致サウ、斯ウ云フノガ主眼

デアリマス、其際ニ一毛作田ト二毛作田ガアリマシタ時ニ、一毛作モ二毛作モ同ジヤウニ、總テ稻作ガ公課諸掛リヲ負擔スルト云フヤリ方ハ如何デアラウカ、殊ニ小作ニ出シマスル際ニ於キマシテモ、二毛作田ニ付テハ、小作料ガ幾分高クナッテ居ルト云フコトハ、農村ノ實情デアルト云フコトハ、御承知ノ通りデアリマス、デアリマスルカラ、公課諸掛リノ負擔ニ於キマシテモ、之ヲ分擔セシメルコトガ適當ナリト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

ルノデアリマス、一縣下ニ、稻作ヲ致シテ居リマス者モ、山間モアリマスレバ、平原モアルシ、或ハ漁村モアル、又土地地味ノ異々者モアリマス、今御話ニナリマシタ如ク、一毛作ノ所モアレバ、二毛作ノ所モアル、中ニ十戸程度ニ於キマシテ御調査ニナリマシテモ、果シテ農林省ノ方デ御積リニナッテ居リマスヤウニ、正確ナモノヲ得ルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトハ稍、私ハ疑問ヲ持ッテ居リマス、此點ニ付キマシテ一應伺ッテ置キタイト思ヒマス

マシテ割振リマシタ次第デアリマス、先程御尋ノ中ニモゴザイマシタヤウニ、或ハ主要米作地ダケニ限ッテ多數ノ戸數ヲ盛ル、外ノ方ハ一切調べナイト云フノモノツノ考ヘ方カト思ヒマス、併ナガラサウスルト云フト、調査ガ片寄ッテシマフト云フコトモアリマスカラ、其方面ヲモ顧慮イタシマシテ、米產地方ヲ主ト致シマスルケレドモ、尙ホ全國的ニモ相當割振ヲ致シ、米產地ト然ラザル地方トニ對シマシテハ、今申上ゲマシタ生産額ト縣外移出額トニ依リマシテ府縣ノ間ニ戸數ノ差異ヲ認メル、「ウエート」ヲ認メルト云フヤリ方デヤリマシタノガ此配置デアリマス、十戸ヲ選定スル地方、ソレデ縣内ノ生産費ト云フモノガ代表シニクカラウト仰シヤルノハ、是ハ御尤ノコトト存ジマスガ、山付キノ地方ダノ漁村ナドハ、今度ハ調べナイ積リデアリマス、各府縣ニ於キマシテモ、縣内ノ米作地方ヲ調べル積リデアリマス、私共ガ過去ノ經驗デ、調べマシタ經驗ニ依リマスルト云フト、隨分山ノ中デ田地ノ少イ地方ニ於キマシテハ、田地ノ價格モ高イ、小作料モ高イ、勞力モ隨分無理ヲシテ澤山入レテ作ッテ居ル、ソレノ爲ニ米ノ生産費ハ非常ニ高クナッテ居ル、併ナガラ田ヲ持ッテ居ルコト、及ビ米ヲ作ッテ居

○絲原武太郎君 以上ノ點ハ、是ヨリ進メ

○政府委員(石黒忠篤君) 米ノ生産費ガ果

度ニ止メテ置キマスルガ、此米穀ノ生産費ノ調査實行案ト云フモノヲ拜見イタシマス、各府縣ニ依リマシテ、ソレ／＼調査ニナリマス戸數ニ相當ナ相違ガアルヤウニ思ヒマス、是ハドウ云フ方面ヲ基準トシテ御決定ニナッタモノデゴザイマス、尙ホ調査ニナリマスモノハ、隨分困難ナ是ハ事柄ト思ヒマス、一縣下ヲ通ジマシテ、少數ノ所ハ約十戸トスルコトニナッテ居リマスガ、縣下ニ十戸ヲ基本トシテ御調査ニナリマスト、果シテ正確ナ……稍、正確ニ近イヤウナ收支統計ヲ得ナサルコトガ出來ルカドウカト云フコトニ付テハ、私ハ頗ル疑ヲ持ッテ居

シテ斯ノ如キ基調調査デ出來ルカドウカト云フコトノ根本的ノ御疑問ノヤウニ私ハ拜聽イタシタノデアリマスガ、戸數ノ問題ハ是ハ程度デアリマスノデ、之ヲ以テ十分ナリト考ヘテ居ルノデヤナイノデアリマス、併ナガラ經費ノ點モゴザイマスルシ、人員ノ點モゴザイマスノデ、先ヅ一千戸調べタナラバ、最少限度ニ於テ先ヅ宜カラウト云フ考デヤッテ居ルノデアリマス、而シテ其戸數ヲ如何ニ地方ニ割振ルカト云フ點ニナリマスルト、米ノ生産額及ビ米ノ縣外移出額、此兩者ヲ見マシテ、只今正確ニ覺エテ居リマセヌガ、四万石ニ一戸……八万石ニ一戸デアリマシタカ、ト云フヤウナ割合ヲ以チ

メルト云フヤリ方デヤリマシタノガ此配置デアリマス、十戸ヲ選定スル地方、ソレデ縣内ノ生産費ト云フモノガ代表シニクカラウト仰シヤルノハ、是ハ御尤ノコトト存ジマスガ、山付キノ地方ダノ漁村ナドハ、今度ハ調べナイ積リデアリマス、各府縣ニ於キマシテモ、縣内ノ米作地方ヲ調べル積リデアリマス、私共ガ過去ノ經驗デ、調べマシタ經驗ニ依リマスルト云フト、隨分山ノ中デ田地ノ少イ地方ニ於キマシテハ、田地ノ價格モ高イ、小作料モ高イ、勞力モ隨分無理ヲシテ澤山入レテ作ッテ居ル、ソレノ爲ニ米ノ生産費ハ非常ニ高クナッテ居ル、併ナガラ田ヲ持ッテ居ルコト、及ビ米ヲ作ッテ居

メルト云フヤリ方デヤリマシタノガ此配置デアリマス、十戸ヲ選定スル地方、ソレデ縣内ノ生産費ト云フモノガ代表シニクカラウト仰シヤルノハ、是ハ御尤ノコトト存ジマスガ、山付キノ地方ダノ漁村ナドハ、今度ハ調べナイ積リデアリマス、各府縣ニ於キマシテモ、縣内ノ米作地方ヲ調べル積リデアリマス、私共ガ過去ノ經驗デ、調べマシタ經驗ニ依リマスルト云フト、隨分山ノ中デ田地ノ少イ地方ニ於キマシテハ、田地ノ價格モ高イ、小作料モ高イ、勞力モ隨分無理ヲシテ澤山入レテ作ッテ居ル、ソレノ爲ニ米ノ生産費ハ非常ニ高クナッテ居ル、併ナガラ田ヲ持ッテ居ルコト、及ビ米ヲ作ッテ居

ルト云フコト、ト云フモノガ甚ダ農家ニ取ッ
テハ望マシイコトトナッテ居ルト云フヤウ
ナ事情カラ、隨分之ヲ市場ニ持ッテ來ル米ト
シテ見ルト、大變高イ生産費ニナッテ居ルト
云フヤウナ事情ガ多々アルノデス、サウ云
フコトヲ調べマシテモ、少シモ全國ノ米價
ノ調節ヲ致シマスル標準ト致シマシテハ、
參考ノ價值ハ低イヤウニ思ヒマス、從ッテ十
戸ヲ選定スル地方ニ於キマシテ、農村ヤ山
付キノ村等ニ迄及ボスコトノ出來ナイノハ
當然ノコトデ、多數ノ戸數ヲ割當テタ地方
ニ於テモサウ云フ地方ハ避ケタイ、米作ノ
地方ニ對シテ調べヲ致シタイ、斯ウ云フ考
ヲ持ッテ居リマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 如何デス、今
日ハ此程度デ以テ散會シテハ……

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ是デ
今日ハ散會イタシマス

午前十一時五十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君

副委員長 橋本圭三郎君

委員

侯爵松平 康昌君

子爵松平 直平君

子爵片桐 貞央君

子爵土岐 章君

男爵長松 篤榮君

上山滿之進君

男爵今枝 直規君

男爵足立 豐君

男爵三須 精一君

湯川 寛吉君

田村 新吉君

絲原武太郎君

本間千代吉君

國務大臣

農林大臣 町田 忠治君

政府委員

大藏政務次官 小川郷太郎君

農林參與官 山田 道兄君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林書記官 田淵 敬治君

同 荷見 安君

拓務省殖産局長 殖田 俊吉君

昭和六年三月十八日印刷

昭和六年三月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局